



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 株式会社 カネミツ 上場取引所 東
 コード番号 7208 URL <https://kanemitsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金光 俊明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 業務本部長 (氏名) 金光 秀治 TEL 078-911-6645
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	6,496	34.9	207	-	224	-	159	-
2021年3月期第3四半期	4,817	△21.6	△507	-	△521	-	△191	-

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 150百万円 (-%) 2021年3月期第3四半期 △360百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	31.17	-
2021年3月期第3四半期	△37.52	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,455	9,155	62.2
2021年3月期	14,146	9,147	63.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 8,994百万円 2021年3月期 8,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	13.00	-	13.50	26.50
2022年3月期	-	13.50	-		
2022年3月期（予想）				13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	30.8	400	-	370	-	360	-	70.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	5,129,577株	2021年3月期	5,129,577株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	16,291株	2021年3月期	16,281株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	5,113,287株	2021年3月期3Q	5,113,326株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、ワクチン接種が進む一方で、新たな変異株による感染再拡大のリスクが懸念され予断を許さない状況が続いています。

自動車業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や半導体不足等の供給制約の影響を受け部品原材料の値上げや景気の下振れリスク等感染状況に左右される状況の中、国内自動車販売台数は、第3四半期会計期間においては、前年同会計期間比19.3%の減少となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の売上高は6,496百万円（対前年同四半期1,679百万円増加〔34.9%〕）となりました。利益面では、営業利益207百万円（対前年同四半期は営業損失507百万円）、経常利益224百万円（対前年同四半期は経常損失521百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益159百万円（対前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失191百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

日本は売上高4,582百万円（対前年同四半期1,233百万円増加〔36.8%〕）、営業損失29百万円（対前年同四半期は営業損失516百万円）となりました。東南アジアは売上高1,479百万円（対前年同四半期471百万円増加〔46.8%〕）、営業利益170百万円（対前年同四半期は営業損失73百万円）となり、中国は売上高625百万円（対前年同四半期54百万円増加〔9.6%〕）、営業利益58百万円（対前年同四半期0百万円増加〔0.9%〕）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は14,455百万円となり、前連結会計年度末に比べ308百万円の増加となりました。流動資産は398百万円増加しましたが、主として現金及び預金の増加279百万円、受取手形及び売掛金の減少182百万円、電子記録債権の増加245百万円等によるものであります。固定資産は89百万円減少しましたが、主として建物及び構築物の減少76百万円、機械装置及び運搬具の増加30百万円、工具、器具及び備品の増加20百万円、建設仮勘定の減少68百万円等によるものであります。

負債は5,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ301百万円の増加となりました。流動負債は442百万円増加しましたが、主として支払手形及び買掛金の増加67百万円、電子記録債務の増加78百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加93百万円、未払法人税等の増加57百万円、その他の増加95百万円等によるものであります。固定負債は141百万円減少しましたが、主として長期借入金の減少68百万円、リース債務の減少60百万円等によるものであります。

純資産は9,155百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円の増加となりましたが、主として利益剰余金の増加21百万円、その他有価証券差額金の減少17百万円、為替換算調整勘定の増加11百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,021,903	3,301,204
受取手形及び売掛金	1,786,593	1,603,941
電子記録債権	488,881	734,119
商品及び製品	161,093	178,982
仕掛品	498,148	551,084
原材料及び貯蔵品	71,550	95,092
その他	88,906	51,028
流動資産合計	6,117,077	6,515,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,240,310	4,270,607
減価償却累計額	△2,262,493	△2,369,445
建物及び構築物(純額)	1,977,816	1,901,162
機械装置及び運搬具	9,552,177	9,714,244
減価償却累計額	△7,445,832	△7,577,296
機械装置及び運搬具(純額)	2,106,344	2,136,947
工具、器具及び備品	1,201,592	1,097,648
減価償却累計額	△1,022,786	△898,275
工具、器具及び備品(純額)	178,805	199,372
土地	2,241,189	2,235,066
建設仮勘定	252,295	183,491
有形固定資産合計	6,756,452	6,656,039
無形固定資産		
のれん	10,062	7,317
その他	120,267	122,470
無形固定資産合計	130,329	129,788
投資その他の資産		
投資有価証券	907,513	895,437
関係会社株式	85,376	105,310
その他	149,985	153,639
投資その他の資産合計	1,142,875	1,154,386
固定資産合計	8,029,657	7,940,214
資産合計	14,146,735	14,455,667

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	530,986	598,002
電子記録債務	380,000	458,000
短期借入金	515,339	526,262
1年内返済予定の長期借入金	416,228	509,982
リース債務	102,465	114,222
未払法人税等	16,024	73,721
賞与引当金	120,522	147,450
役員賞与引当金	10,326	11,142
その他	570,145	666,042
流動負債合計	2,662,040	3,104,827
固定負債		
長期借入金	1,235,469	1,166,486
リース債務	299,447	238,884
長期未払金	79,380	79,380
繰延税金負債	408,054	400,349
退職給付に係る負債	258,551	254,944
その他	56,124	55,269
固定負債合計	2,337,027	2,195,314
負債合計	4,999,068	5,300,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	556,073	556,073
資本剰余金	506,523	506,523
利益剰余金	7,463,292	7,484,660
自己株式	△15,859	△15,867
株主資本合計	8,510,030	8,531,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306,072	288,430
為替換算調整勘定	164,151	175,155
その他の包括利益累計額合計	470,223	463,586
非支配株主持分	167,412	160,549
純資産合計	9,147,667	9,155,525
負債純資産合計	14,146,735	14,455,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	4,817,308	6,496,662
売上原価	4,212,719	5,036,258
売上総利益	604,589	1,460,403
販売費及び一般管理費	1,111,929	1,253,229
営業利益又は営業損失(△)	△507,340	207,174
営業外収益		
受取利息	5,695	1,897
受取配当金	10,637	15,545
持分法による投資利益	—	14,366
為替差益	—	3,486
スクラップ売却益	2,914	17,256
その他	12,953	13,123
営業外収益合計	32,201	65,676
営業外費用		
支払利息	23,068	20,483
持分法による投資損失	17,334	—
有価証券売却損	535	—
為替差損	4,804	—
埋蔵文化財発掘調査費	—	24,243
その他	340	3,640
営業外費用合計	46,083	48,367
経常利益又は経常損失(△)	△521,222	224,483
特別利益		
固定資産売却益	1,157	4,421
補助金収入	103,273	24,777
保険解約返戻金	16,968	4,091
受取保険金	695	—
負ののれん発生益	195,957	—
特別利益合計	318,053	33,290
特別損失		
固定資産売却損	1,062	1,492
固定資産除却損	18,750	364
特別損失合計	19,812	1,856
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△222,982	255,917
法人税、住民税及び事業税	19,330	96,014
法人税等還付税額	△22,452	—
法人税等調整額	△3,420	2,024
法人税等合計	△6,542	98,038
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△216,439	157,879
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,555	△1,546
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△191,883	159,426

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△216,439	157,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,601	△17,641
為替換算調整勘定	△244,259	4,675
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,438	5,567
その他の包括利益合計	△144,096	△7,398
四半期包括利益	△360,535	150,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△306,413	152,788
非支配株主に係る四半期包括利益	△54,121	△2,308

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、有償受給取引について、従来有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を総額で計上しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従来の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、従来の会計処理と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高は16百万円減少し、売上原価は16百万円減少しております。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高も影響ありません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,320,029	948,516	548,762	4,817,308	—	4,817,308
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,932	59,755	21,526	110,214	△110,214	—
計	3,348,961	1,008,272	570,289	4,927,523	△110,214	4,817,308
セグメント利益又は損失 (△)	△516,549	△73,082	57,687	△531,944	24,604	△507,340

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額24,604千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△24,647千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等49,251千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「日本」セグメントにおいて、株式会社津村製作所を連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、195百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
プーリ	1,848,883	1,177,783	512,921	3,539,588	—	3,539,588
トランスミッション	1,274,003	—	—	1,274,003	—	1,274,003
その他	1,433,427	195,684	53,959	1,683,070	—	1,683,070
顧客との契約から生じる収益	4,556,314	1,373,467	566,880	6,496,662	—	6,496,662
外部顧客への売上高	4,556,314	1,373,467	566,880	6,496,662	—	6,496,662
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,912	106,332	58,264	190,510	△190,510	—
計	4,582,226	1,479,800	625,145	6,687,172	△190,510	6,496,662
セグメント利益又は損失(△)	△29,676	170,465	58,225	199,014	8,159	207,174

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額8,159千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△28,193千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等36,353千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。